

井草 高等学校 令和8年度（3学年用）教科

地理歴史 科目 発展世界史探究

教科：地理歴史

科目：

発展世界史探究

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 必修選択A・B群

使用教科書：（詳説世界史探究（山川出版社） 世界史詳覧（浜島書店） ウィニングコンパス（東京法令出版））

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 発展世界史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を身に付けている。また多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 単元の内容を適切に整理し理解する 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について多面的・多角的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容に興味を持ち、主体的に探究しようとする	・主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解する。	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断・表現】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力がついたかという観点から定期考査、ワークシートの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度が身についているかという観点から、授業への取り組み、小テストや課題への取り組みを総合的に評価する。	○	○	○	27
定期考査			○	○		1
産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 単元の内容を適切に整理し理解する 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について多面的・多角的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容に興味を持ち、主体的に探究しようとする	・産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解する。 ・19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解する。 ・列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解する。	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断・表現】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力がついたかという観点から定期考査、ワークシートの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度が身についているかという観点から、授業への取り組み、小テストや課題への取り組みを総合的に評価する。	○	○	○	27
定期考査			○	○		1
冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界 【知識及び技能】 単元の内容を適切に整理し理解する 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について多面的・多角的に考察する 【学びに向かう力、人間性等】 単元の内容に興味を持ち、主体的に探究しようとする	・冷戦の進展と、冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解する。 ・冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解する。	【知識・技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について理解し知識をえられたかの観点から、定期考査、小テストの成績をもとに評価する。 【思考・判断・表現】歴史的概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力がついたかという観点から定期考査、ワークシートの内容を総合的に評価する。 【主体的に取り組む態度】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度が身についているかという観点から、授業への取り組み、小テストや課題への取り組みを総合的に評価する。	○	○	○	28

